

NEWS RELEASE www.jogmec.go.jp



独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

問合せ先：地熱部地熱開発課 高橋 TEL:03-6758-8015

広報担当：総務部広報課 乾 TEL:03-6758-8106

[開催報告]「地熱シンポジウム in 八幡平」 ～岩手県八幡平市で地熱発電の歴史を振り返り、今後を展望～

JOGMEC(本部:東京都港区、理事長:黒木啓介)と八幡平市(市長:田村正彦)は平成 28 年 9 月 16 日(金)～17 日(土)に、岩手県八幡平市において「地熱シンポジウム in 八幡平」を共同で開催し、地域と共生した地熱発電のあり方などについて、八幡平市で事業に携わる方々などを交えて討論し、課題や展望を共有しました。また、松川地熱発電所が運転開始から今年で 50 年を迎えるのを記念し、運転を開始した 10 月 8 日が「地熱発電の日」に登録され、記念日登録証の贈呈式が行われました。今後、シンポジウムの内容を広く発信し、地熱開発の推進に役立てていきます。

JOGMEC と八幡平市は、9 月 16 日～17 日に、八幡平市において「地熱シンポジウム in 八幡平」を共同で開催しました。松川地熱発電所の歴史や八幡平市と地熱との関わりを振り返り、地域と共生した地熱発電のあり方などについて、八幡平市で事業に携わる方々、将来を担う世代およびゲストが討論し、課題や展望を共有しました。

また、八幡平市に立地する国内初の地熱発電所である松川地熱発電所が本年、地域と共生しつつ運転を開始してから 50 年を迎えることから、JOGMEC、日本地熱協会及び電気事業連合会が共同で、運転を開始した 10 月 8 日を「地熱発電の日」として制定し、シンポジウム内で記念日登録証の贈呈セレモニーを行いました。



JOGMEC 理事長 黒木啓介
による開会挨拶



「地熱発電の日」登録証授与

本シンポジウムには、超党派地熱発電普及推進議員連盟の国会議員、参議院議員、関係各省庁、地方自治体、地熱開発事業者、地熱利用事業者、学生、地元住民の方々など全国各地から430名にご来場いただきました。



満席となったシンポジウム会場

第1部では、元・日本重化学工業株式会社の地熱事業部長で、岩手県において地熱開発の草創期を経験された佐藤浩様から「松川地熱発電所運転開始50年を振り返って」と題し、松川を中心とした地熱開発の歴史や熱の直接利用など地熱発電と地域との関わりについて講演していただきました。

第2部のトークセッションでは、地熱開発草創期からの地域の歴史を振り返りつつ、地熱と関わる八幡平市の「いま」と「これから」について、市長、地熱発電事業者、熱利用事業者、観光事業者が、ゲストとともに現状の取組と今後の展望を紹介しました。



トークセッションの様子

第3部では、「大規模地熱開発と八幡平市の未来」について議論を交わしてきた市民討論会の成果が報告されました。市民討論会の成果報告を受けて、パネラーによる討論が行われ、ファシリテーターを務めた東北芸術工科大学山崎亮教授が「これまでの50年は、例えば一次産業の商品は形が揃っているか、値段が安いかがお客様の選択のポイントだった。これからはどうやって作っているか、どのようなエネルギーを使っているのか、そうした背景も選択のポイントになってくる。それは観光も同じ。地域の宝である地熱を用いて、地球に負荷を与えない——そうしたことが求められてくるのではないか。」と締めくくりました。



「地熱シンポジウム in 八幡平」の来賓、登壇者

このほか、シンポジウムの開催にあわせ、シンポジウム会場入口前で地域産品などの展示会を開催したほか、翌 17 日には松川地熱発電所や地熱利用施設などを巡る見学会を行い、150 名の皆様にご参加いただきました。



展示会で地熱を学習中の
八幡平市立松尾中学校の生徒たち



松川地熱発電所を見学中の見学会参加者(9月17日)

JOGMEC は、今後も地熱開発への理解を一層深めていただくため、このようなイベントの開催に積極的に取り組むとともに、シンポジウムの内容や成果を全国の地熱開発地域に発信し、地熱開発の推進に役立てていきます。